

別記様式

議 事 録

会議の名称	岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会
開催日時	令和5年1月6日（金） 午前9時30分から午前11時30分まで
開催場所	岩倉市生涯学習センター 研修室1・2
出席者 (欠席委員・説明者)	鎌倉博委員長、瀬野由衣副委員長 委員：13名 欠席委員：3名 事務局：長谷川忍教育こども未来部長 西井上剛子育て支援課課長 佐久間喜代彦同保育グループ長 南端隆佳同主査 デザインボックス（以下、「DB」）：杉山、山田、岡
会議の議題	・議題 （1）ワークショップ「Imagine the 統合保育園」の結果報告について （2）岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想（案）について ・その他 （1）その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された資料の名称	・配布資料 （1）ワークショップ「Imagine the 統合保育園」の結果報告について（資料1） （2）岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想（案）について（資料2）
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	5人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 挨拶

- ・委員長よりあいさつ
- ・議論内容の確認

2 議題

- (1) ワークショップ「Imagine the 統合保育園」の結果報告について
【資料1に基づき、事務局から説明】

委員長：傍聴された委員にワークショップ（以下、「WS」）の質問等を伺いたい。

委員：質問ではないが、傍聴した感想を述べたい。和やかで意見が出しやすいWSであった。映像により参考事例を見ることができ、ビオトープや地域とのつながり方など新しい発想を知ることができたし、アンケートでは見られない意見も出されていた。

委員：市民の保育園に対する愛情を感じることができた。他の保育園をなかなか知ることができないため、参考事例を見ることでイメージがしやすかった。

委員長：参考事例の紹介も好評であったようだが、参考事例はどのような内容だったのか概要を伺いたい。

事務局：本日は準備が無いため、第4回検討委員会にて委員の皆さんにも紹介したいと考えている。

D B：概要としては、事前のアンケートから屋外環境に対してのニーズが多かった為屋外環境と屋内環境の繋がりが分かる事例を紹介した。
全体としては屋外と屋内の関係性、地域との交流などの関係性、保育室同士の関係性の3つのタイプに分けて紹介した。また、弊社設計の直近事例を2園紹介した。

委員長：私立園や民間事業者の園に特色のある保育園が多いが、最近では公立園においても建物の構造を工夫した園などが増えてきている。意見のすべてを盛り込むことは厳しいが、WSの結果報告を踏まえて委員からの意見を頂きたい。

委員：WSに参加したかったが都合の合わない保育士もいた。WSで出した意見・情報を知らない為、共有する機会を設けて頂きたい。

事務局：参加できなかった保育士の方にも時間を取り情報共有する。

委員：敷地と公道を区切る扉は防犯面を考慮して、子どもが自分で開閉できないようにして頂きたい。

委員：あゆみの家では裸足による療育を常時行っている。寒い時期はカーペットを敷くが子どもたちの足は冷たい。統合園では、床暖房を設置するなどの対応をお願いしたい。

委員：WS意見にあるカフェ併設の保育園は良いが、人が自由に出入りできると防犯面が不安である。

事務局：参考事例のイメージでは、直接保育室とはつながっていない園舎の玄関付近を使った一定仕切られた空間だった。保育室の中まで自由に出入りするスタイルでは

ない。

委員：地域の方とのつながりは必要だが、防犯面で考えると人の判断が難しい。一方で防犯面が大事だからこそ、地域の目があることが防犯につながると思うので、難しいとは思いますが施設の設計に期待したい。

また、保育士の意見を多く取り入れてもらいたい。

副委員長：防犯面に対しての意見が多いので、過去のヒヤリハットの事例の事故検証報告書を参照してみたい。

委員：WS意見にもあるように温水が出ると良いが、実現性はどのくらいあるのか。

事務局：基本設計、実施設計の段階の話である為、現段階では答えにくい要望が多いので優先度は高いと考えている。

委員：水が好きな子が遊んでしまうため、あゆみの家の蛇口は自動ではなく、ロックを付けるなど制限がある物を使用してほしい。

委員長：昨今の情勢から、空調や換気の構造など、感染症対策に配慮がされるとよいと思う。

(2) 岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想(案)について

【資料2に基づき(①:p1~p18、②:p19~p20、③:p21)、事務局から説明】

① 園舎建設に至るまでの背景やアンケート結果・ワークショップ内容など

委員長：内容に相違ない事を全委員で確認。

② 統合保育園の整備及び運営の方針

委員：今までのやり取りの中で3つ確認したい。

- ・子育て支援施設はどういった機能をイメージしているのか。
- ・蛇口をひねる動作などは発達を促すうえで必要な動きでもある。利便性だけでなく保育の場としてふさわしい設備を考える事も大切ではないか。
- ・検討委員会が終わった後、どういった工程で予算組みを行うのか。

委員：蛇口以外にも利便性のみでなく、不便さも子どもの発達には欠かせないことであり、安全・安心のうえで、保育環境を重視した仕様の選定をお願いしたい。

事務局：子育て支援施設は、保護者と職員が個別に使える相談スペースのイメージである。職員が常駐する支援センターなどではなく、現在の職員配置で可能な範囲で活用をする場を考えている。

予算組みについては基本設計以降の話になる為、現段階で確定した数字はない。

委員：(2)の中に岩倉の保育として「異年齢保育」の文言を入れてほしい。

事務局：加筆するようにしたい。

③ 統合保育園ゾーニング

委員：あゆみの家から園庭が見えた方がよい。また外で遊ぶのに園庭まで遠いのではないかな。

事務局：イメージ図のあゆみの家は、専用の園庭も含んだ表記である。

委員：建設候補地の一区画が空白だが今後何になるのか。

駐車場を敷地内に配置すると、踏み間違いで園に突っ込む可能性があるのでは。

事務局：空白の一区画は現在、民家となっている。買収予定地の所有者への説明とあわせて、民家の所有者にも保育園の建設候補地であることを説明している。この一区画については買収する予定はなく、今後も隣接したままとなる。

駐車場内での問題は避けようがない事だが、ガードなどの安全対策は検討する。敷地外に駐車場を造ると道路を横断することになり、安全面に不安が残るので現在は敷地内で考えている。今後、敷地外に駐車場を設ける方針も全く無いわけではないが、必要な場合は安全面を考慮して土地を選定する。

委員長：自身の経験上、近隣住宅には年度初めやイベント時のご挨拶に向かうなど誠心誠意コミュニケーションを図ることで対応できるのではないかと。

委員：ゾーニング図の園舎部分は大きさに足りているのか。

事務局：園舎のクラス数などによって変わる為、現段階で想定するおおよそのサイズと考えてもらいたい。園舎の配置によっても園庭のサイズ感などは大きく変わるため、今後の設計で検討する。

委員：子どもが隣地におもちゃを投げてしまうことがある。民家に迷惑が掛かる可能性があるためネットなどをつける対応策をお願いしたい。

あゆみの家にはホームページがない為どんな場所か分からない。通うか悩んでいる方が、保健センターを介さず地域交流スペースで相談が出来たら、不安が少しでも和らぐのではないかと。

事務局：あゆみの家の相談室は専門職員がいる状態は現在考えていない。支援センターではない為、必要に応じてあゆみの家の保育士が相談対応する。アンケートなどに相談室が欲しいと意見が多かったため専門職員の相談室は別途で設置したいと考えている。

委員：地域交流スペースで気軽に相談出来るのはよいと思う。

駐車場の大きさは園児の人数に対して足りるのか。あゆみの家に通っている方は別で用意されるのか。先生方の駐車場はどうするのか。

委員：駐車場は今どのくらい確保を考えているのか。仙奈保育園は現在路上駐車となっている。駐車場問題で保育園を選ぶ保護者もいる。

事務局：車は長時間停めるわけではないので、駐車場の確保は15～20台と考えている。

あゆみの家の利用者は、保育園の登下園とは重ならない時間帯で利用できるため共用可能と考えている。職員の駐車場は現在同様に各自で確保してもらう。

委員長：建設候補地の近くの道路に一時的に停める事は可能なのでは。

事務局：道路交通法に関する事なので現地の規制状況による。

委員：敷地の北面・西面道路は朝と夕方に抜け道として使われているため、交通量が多くなっている。南面道路は小学生の通学路になっている。

事務局：建設候補地を決める際に道路の交通量の状況については同様の意見を頂いている。

交通量の多い北側に園舎を配置し、南側に園庭と駐車場を設ける等ゾーニングでも考慮している。

委員長：駐車場問題に関心が高い。周辺状況や運用で時間をずらしたりするなどの工夫が重要。駐車場を広くして保育機能が狭くなるのは本末転倒のため、全体のバランスが重要となる。今後の課題として検討して頂きたい。

委員：リスク管理のうえで、体制・環境・人的な整理の3つの事柄を大切にする事が重要。中でも環境を一番に優先し、「ヒヤリハットな状況だったが大丈夫だった。」と言えるような施設を目指す事が大切で、子どもたちを守るセキュリティ・防犯に何よりも力を入れて頂きたい。

3 その他

(1) その他

なし

次回：令和5年2月21日（火）午前9時30分～正午

場所：岩倉市生涯学習センター研修室1・2

以上で、検討委員会を終了する。